

# 埼玉県 退職校長会 会報

題字・新井俊一  
第186号  
令和8年1月

## 代員を探しています

埼玉県退職校長会副会長 吉武 覚



私が教職に就いたころは児童数の増加に伴い、各地で新設校が誕生しました。そのために教育委員会の重要な仕事として教員確保があり、教員探しに全力で取り組みんでいました。

今の学校の状況は、児童数の大幅な減少に伴い学校の統廃合が行われています。学校数が減ると教員も余るはずですが、現状は教員不足が深刻な問題として学校現場を苦しめています。教員採用試験の定数割

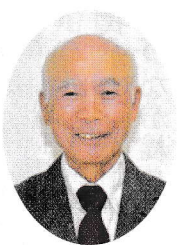
れ、産休や病休代員教員探しに苦労したある学校では、学校便りで代員教員募集をしたという笑えない話を聞き、改めてこの問題の深刻さを痛感させられました。本来代員補充の仕事は、教育委員会の仕事であるが、代員がいない現状では教育委員会を頼りにすることはできない。欠員補充が来ない学校の現場では、

教務主任や管理職が学級担任を務めなければならぬ状態を抱えているのが現状です。

このような非常事態にもかかわらず全力で取り組んでいる校長先生をはじめ教職員の方々に救いの手を差し伸べずにはおられませ

- ①～② 巻頭言
- ③～⑧ 支部別教育推進研究協議会報告
- ⑨ 理事会報告
- ⑩～⑬ 一人一言
- ⑭ 関プロ報告
- ⑮ 現・退校長会役員研究協議会報告
- ⑯ 囲碁・ゴルフ大会
- ⑰ 長寿会員への寿詞贈呈
- ⑱ 文化・編集後記

## 散歩と学び



ん。学校現場が助けを必要としているとき、できるだけの協力をするのが私たち退職校長会の大きな目的の一つであると考えたとき、会員の皆さんと力を合わせて行動を起こそうではあり

令和5年の退職校長会の総会がさいたま市で開かれました。その折、青柳幸利氏の「歩き方の黄金律」の講演をお聞きしました。一日8000歩で生活習慣病が防げるという話でした。その話を思い出しながら、毎日歩くことを心掛け

ません。

まずは幅広い人脈網を生かして代員ができそうな教員探しのお手伝いをお願いします。もし可能ならば、代員をお願いできればいいと考えています。

教員免許を所有している方は多いが教員経験者は殆どいないと思われます。代員不足に苦しむ学校現場の救い手になって下さい。

大里支部長 神谷 為義

ています。歩く道筋には二つのシラヒゲ神社がありま

す。素通りするのもなんとなく気が咎めるのでお参りをするので、甲の神社には「白髭神社」、乙の神社には「正一位白髭大明神」の額が掲げられています。ヒゲが「髭(シ・クチヒゲ)」なのか「鬚(シュ・アゴヒゲ)」なのかと気になります。

祭神は猿田彦神だそうです。猿田彦は天孫降臨の折その案内を務めた国つ神

で、日本書紀には「その鼻の長さ7尺、背の長さ7尺余り。当に7尋と言ふべし。且口尻明り輝れり。眼は8咫鏡の如くして、てりかがやけること赤酸醬に似れり」とあります。「口尻」は猿の連想から「顔とお尻」という説があります。う説もあり、また「猿田」は「サ(稲)、ル(の)、田」で「神稲の田」と解せられますから、動物の猿ではなく稲田を司る神というのが正しいでしょう。するとお顔の口脇や目が赤い神様のお姿としてヒゲは白いアゴヒゲが相応しいように思われてきます。

散歩は健康維持が目的ですが、あちらこちらに突っかかって由緒来歴を調べたり移り変わる自然を句にしたりして楽しみます。学ぶことを忘れていた私には、それが再度学びに近づくように思われます。

今後「歩き方の黄金律」を忘れずに続けていきたいと思ひます。